

# — 目 次 —

— 目 次 —	- 1 -
【第 1 号議案】	- 2 -
【第 2 号議案】	- 16 -
【第 3 号議案】	- 17 -
【第 4 号議案】	- 19 -
【第 5 号議案】	- 20 -
【第 6 号議案】	- 24 -
【第 7 号議案】	- 25 -
【第 8 号議案】	- 26 -
【第 1 号協議】	- 27 -
【第 2 号協議】	- 28 -
【第 3 号協議】	- 29 -
【第 4 号協議】	- 30 -
【第 5 号協議】	- 34 -
【第 6 号協議】	- 36 -
【第 7 号協議】	- 37 -

2017-2018年度第2回役員会

議長 西日本区 2017-2018年度 理事 大野 勉 殿

提案者 役職名 西日本区書記  
氏名 進藤 啓介

## 西日本区第2回役員会 議案書

【第1号議案】 **承認**

<p>議案名</p> <p>2017-2018年度 第1回役員会議事録承認および当該議事録の区報掲載の件</p>
<p>議案内容</p> <p>2017年7月15日(土)・16日(日)に開催された西日本区第1回役員会議事録の承認をお願いいたします。</p> <p>併せて、当該議事録の区報への掲載についても承認をお願いいたします。</p>
<p>提案理由</p> <p>第1回役員会議事録は、既に配信し、ご確認いただいておりますが、ご指摘箇所を修正の上、ご承認いただきたく、よろしくをお願いいたします。</p>
<p>【アジェンダ資料】 *議案のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。</p> <p>議案のタイプ <input checked="" type="radio"/>問題解決 <input type="radio"/>連絡 <input "="" type="radio"/>緊急を要する <input type="radio"/>要しない ★ 月 日までに解決の必要</p> <p>必要時間( 5 )分 資料( ) 出席を要請すべき人( )</p>
<p>【提出期限】10月23日(月)必着 複数の議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。</p> <p>開催日:2017年11月11-12日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909</p>

# 第1回 西日本区役員会 議事録

開催日時:2017年7月15日(土) 13:00～17:45

16日(日) 9:15～10:45

開催場所:ホテルクライトン新大阪

出席者:25名(兼任除く、敬称略)

〈常任役員〉理事 大野 勉、直前理事 岩本 悟、次期理事 遠藤 通寛、書記 進藤啓介、会計 桑野友子

〈事業主任〉Yサ・ユース 山川新一、地域奉仕・環境 吉田由美、EMC 事業主任 三科仁昭、国際交流 金澤市郎、メネット 中道京子

〈部長〉中部 山内ミハル、びわこ部 松岡義隆、京都部 竹園憲二、阪和部 鈴木璋三、中西部 大村 肇、六甲部 杉本隆人、瀬戸山陰部 福永君二、西中国部 辛島清孝、九州部 小田哲也

〈監事〉財政監事 高瀬 稔、行政監事 松本武彦

〈委員会〉LD 委員長 船木順司、区報編集委員長 三浦 克文

組織検討・安全対策委員長 浅岡 徹夫

クリスチャニティー委員長 田上 正

ヒストリアン 濱田 勉

西日本区ワイズ活動編纂

委員長 大槻 信二

トラベルコーディネーター 中井 信一

YMI 翻訳編集委員長 谷本 秀康

財政問題等検討委員長 濱田 勉

ワイズ将来構想特別委員会 森田 恵三

〈理事事務局〉事務局長 山田滋己、事務局員 山根 泉、事務局員 大野智恵

〈区連絡主事〉日本 YMCA 同盟 有田征彦

〈区事務所〉事務所職員 坂本千春、事務所職員 生雲文枝

~~~~~

2017年7月15日(土):第1日

13時00分 開会

司会進行:書記 進藤啓介

**開会宣言・点鐘、理事挨拶:** 理事 大野 勉

・この10日間大雨が降り、北九州は特に多く災害となっている。役員会がなければ飛んで行ってボランティアをしたいぐらいだが、役員会にて皆様の力を得て取組んで行きたい。ワークブック P6 の方針を改めてお話したい。健康を自分自身にも問いかけ、問題を1つ1つ前向きに解決し、YMCA 報告にあるポジティブネット、セーフティネットでなく前向きなネット、ポジティブに進めて行きたい。これまでの経験を活かしながら、よりよい経験を重ねて行きたいと思う。緑のベルトも部会でのアピールに活用して頂き、最後にもう一度健康に留意して1年間よろしくお願ひしたい。

**直前理事挨拶:** 直前理事 岩本 悟

・先月の大会、関係するみなさまの好意的な気持ち、先進的な気持ちと実行委員会の心をつなげた大会運営で成功裏に終わった。感謝申し上げたい。限定10冊で元国際会長の第59代日本区理事をされた竹内敏郎ワイズの伝記持ってきた。読んで、改めて人間として、ビジネスマンとして、ワイズメンとしてすばらしい生き方であり、ぜひ近づきたい。早い者勝ちで手を挙げて欲しい。

**次期理事挨拶:** 次期理事 遠藤 通寛

・指名委員長の時に上手く行かず、こんな形となり申し訳ない。新たな気持ちで拝命したい。役員を選任して行っているが、未だメネット事業主任のポストが空いている。メネット事業は難しいのでは考えているが、次の主題として“未来に残すべきものを守り続ける“という主題を持っているので、事業は何とかして行きたい。

## 出席者報告、プログラム説明:書記 進藤啓介

- ・ 33 名の内 2 名は遅れての参加になる。
- ・ プログラム説明。9 号までの議案は本日終えたいと考えている。
- ・ 配布資料について説明、確認。

## 自己紹介:各自

### 事業主任報告:

- Yサ・ユース 事業 山川新一:資料に基づき説明。前期は各部会へ積極的に参加する。YYY フォーラムについても参加を予定している。チャリティーランについても全部参加予定である。後期についても YYY フォーラム、チャリティーランへ参加する予定。次回のユースコンボケーションは韓国麗水(ヨス)で開催される。また案内する。支援金もよろしくお願ひしたい。
- 地域奉仕・環境事業主任 吉田由美:みなさんのご支援の下、やっ行ってきたいので、よろしくお願ひしたい。献金をまず皆さんから頂くことが大事なので、これをお願ひしたい。昨日京都部の CS 役員懇談会に出席し、活発な活動についてお聞きした。京都部は Y's の鏡のような活動だと思った。自身が京都部の活動をあまり知らなかったように、他部の事は知らないケースが多いと思うので、他部の情報を発信して行きたい。各部の主査が主催する機会に、時間の許す限り伺いたいと思うのでぜひお知らせ頂きたい。災害支援も間髪入れずに行動しないといけないと思っている。ぜひご協力をお願ひしたい。
- EMC 事業主任 三科仁昭:既に終わったものも含めて、各部の EMC シンポジウムに参加する。九州部、西中国部も活発、伸びも期待できる感じであった。期待して行きたい。六甲部宝塚クラブの入会式にも参加させて頂き、六甲部 EMC 推進チームを立上げておられるので喜んで参加したい。合言葉の案、”E 笑顔・M みんなで・C コミュニケーション“、いろんなところで伝えて行きたい。
- 国際交流事業主任 金澤市郎:資料に基づき順に説明。
- メネット事業主任 中道京子:遠藤次期理事からの話で、次期主任が決まっておらず、事業の難しさを理解したが、メネットに限らず、Y's 全体で事業に参画して頂きたい。  
7/1 にメネット事業主査研修会を開催。主査、部長、その他 43 名参加下さった。8 月発行のメネット報に掲載するのでご覧頂きたい。メネットアワーについては資料の通りの予定。  
メネット事業支援金、西日本区会計と別に集めるものなので、ぜひお願ひしたい。メネットアワーでも献金をお願ひしたいと思っているが、これは一旦西日本区メネット会計に入れてから、各部へ支援したい。

### 事業主任報告に対する質問等

- ・阪和部部長 鈴木璋三:奈良 YMCA のチャリティーランが 10/22 にもあるので変更お願ひしたい。和歌山は来年の 5 月の予定。10/15 は中西部と一緒に実施、場所は鶴見緑地の予定。
- ・九州部部長 小田哲也:国際交流事業の使用済切手は、郵送料高くてあまりメリットが無いという意見があるがどうか。
- ・国際交流事業主任 金澤市郎:その意見はあちこちで出ているのだが、今期は続けて行きたい。
- ・理事 大野 勉:六甲部はクラブでは赤字になるので、部でまとめて送っている。
- ・区報編集委員長 三浦克文:岡山クラブでは西日本区一位である。クラブメンバーの長寿が主任をした時に報告をしている。Y's は奉仕の精神なので忘れてはいけないと思う。切手を封書で送って下さる方には、葉書をお返すのでとてもペイしない。切手を切るのも施設へお願ひしてリハビリになっている。奉仕でも良いのではないかという考え方もある。
- ・西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二:昨年 10 月の役員研修会でもお話したが、これから 1 年間かけて勉強して行くという発言は少し控えて頂きたい。
- ・EMC 事業主任 三科仁昭:今期から始めた例会充足率、分母はメンバー数、分子は例会参加者、30/20 ということになる。京都部で出てきたが、合同例会、記念例会はどうなるかという質問があったので、これは検討してお答えしたい。
- ・理事 大野 勉:EMC 報告の仕方が今期変わって、例会充足率を追加してお願ひしたいので、各部で質問あれば対応お願ひしたい。

## < 議案審議 >

- ・ 18/19 議決権者の出席、10 名の賛同で採決される。
- ・ 出席議決権者数の報告と過半数の確認:書記 進藤啓介(議決権者 19 名中 17 名出席、過半数 9 名)

議長:理事 大野 勉

|       |                                    |      |          |
|-------|------------------------------------|------|----------|
| 第1号議案 | 2017-2018 年度 第1回及び第2回 準備役員会議事録承認の件 |      |          |
| 議案内容  | 第1回及び第2回 準備役員会議事録承認                |      |          |
| 提案者   | 書記 進藤啓介                            | 審議結果 | 全会一致にて承認 |

○質問、意見等:

- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二:議事録は問題無い。交通費について新大阪迄になったと会計から話があったが、P17 の議事によると公共交通機関の最寄駅ということなので、西中島南方でないかと思う。
- ・ 会計 桑野友子:自宅の最寄駅は良く分からないため JR の最寄駅としている。今後は改めたい。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二:不平不満はないが、決定事項と運用が異なるのではないかと。
- ・ 会計 桑野友子:あまり細かい運用も手数がかかるだけなのでどうしようかと思う。
- ・ 六甲部部长 杉本隆人:役員会は 40 名ぐらいなので、自己申告して頂いて、登録して頂いたらと思う。
- ・ 理事 大野 勉:交通費が高騰しないように心配しておられて、新大阪となっている。
- ・ 次期理事 遠藤通寛:前回の議事録承認なので、決定事項について確認している
- ・ LD 委員長 船木順司:交通費、広報もそうで、決定事項を遵守するとの通りだが、交通費は長年にわたり検討されてきたことなので逆にパニックになるかもしれない。広報委員会についても、継続的に事業を行っていくので常置委員会として複数年の委員長を選任するというようになってきた。以前決まっていたことが、違う方向に行くのでは。
- ・ 組織検討・安全対策委員長 浅岡徹夫:経緯があり、人を減らすためにやったという目的ではなく、継続的にむしろ強化して行くべきとの主旨であった。実際の運用が上手く行っているかについては問題あると思うが、主任に戻すかどうかということではなく、広報活動をより活発にどうすれば出来るかを考えて頂きたい。
- ・ 理事 大野 勉:交通費について、議事録の通り運用して行くことでどうするか決めたい。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二:議事録はこれで良いし、運用についてかき回したようで申し訳ないが、同じ場所に集まっているのに人によって異なるのはおかしい。
- ・ 理事 大野 勉:役員会会場の最寄駅を新大阪ということにしたいということである。
- ・ 組織検討・安全対策委員長 浅岡徹夫:一本に決めなくても良いのでは。経路に寄って、安価な方を最寄駅にしてはどうか。
- ・ 会計 桑野友子:そんなに詳しくないが、基本的にはこの形になったのは、三重とかで JR より近鉄の方が安いケースで話をしていた。自身は阪急でくるので南方であるが、JR の場合は新大阪であろうと考え、あまり深く考えてなかった。
- ・ 行政監事 松本武彦:会計の言っているのは実務上の問題であり、まずは議事録の承認について承認頂ければと思う。
- ・ 理事 大野 勉:運用の面はあれば協議案出して頂く、広報については前向きな広報を考えて行くことで良いか。
- ・ 直前理事 岩本 悟:P16 のメーリングリスト、監事は r17dx に入っている。遠藤理事も入れました。
- ・ 坂本:監事は r17dx に入っている。遠藤理事も入れました。

|       |                                                                                 |      |          |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------|------|----------|
| 第3号議案 | JWF管理委員会委員、ワイズ将来構想特別委員会委員追認の件                                                   |      |          |
| 議案内容  | JWF 管理委員会委員として西野陽一ワイズ (大阪高槻)、ワイズ将来構想特別委員会委員として遠藤通寛次期理事 (大阪泉北) を選任。役員会にての追認を求める。 |      |          |
| 提案者   | 理事 大野 勉                                                                         | 審議結果 | 全会一致にて承認 |

○質問、意見等:無し

- ・ 結果:全会一致で承認
- ・ 連絡事項:
- ・ 理事 大野 勉:委嘱状ならびに任命状を準備してきているので、各部長さんを通じてお渡し頂きたい。また、荒川さんの所属は、名古屋グランパスクラブに訂正していただきたい。
- ・ 組織検討・安全対策委員長 浅岡徹夫:組織検討、河合久美子さんのクラブ名が抜けているので追認。
- ・ 財政監事 高瀬稔彦:委嘱状ならびに任命状は必ず会長様経由でお渡し頂きたい。
- ・ 理事 大野 勉:経費節約のおり、部長さんからお渡し頂きたい。

|       |            |      |                |
|-------|------------|------|----------------|
| 第4号議案 | 防災特別委員の件   |      |                |
| 議案内容  | 防災特別委員会を設置 |      |                |
| 提案者   | 理事 大野 勉    | 審議結果 | 提案者により本議案は取り下げ |

○質問、意見等:

- ・ 財政問題等特別委員長 濱田 勉:ヒストリアン、財政問題等特別委員長としてか分からないが、委員会の目的を明確にすべき。常任役員会は本当に出来るのか、機能できるのか疑問がある。財政問題等特別委員長としては組織が肥大化して行くという観点もある。Y's は防災をどう捉えて何を実施して行くのかをしっかりと考えて進めるべき。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二:定款第9条、第17条の両面でこの1年間委員会として検討して理事に報告するのか? 特別委員会なのか常置委員会なのか、定款施行細則に入れるのか検討しないとにならないと思う。
- ・ 理事 大野 勉:一点は九州北部の水害について区としてどうして行くのが良いか、理事一人で決めて行くことは難しい、それを相談できるのは常任役員でないかと考えて本案にしている。一年ぼつきりではなくて相談しながら実施して行けるのでは。第二号議案、当初考えていたところと変更したいと思い、先に第四号議案として出した。
- ・ 財政監事 高瀬稔彦:非常時にという点から言うと、特別委員会としてではなく、常任役員会できちっと議論して定めて行けば良いと考えている。自身が理事の期にも、フィリピンで大きなサイクロンの災害があった。その際もYMCA 同盟と協力して、各クラブの貢献度が分かるようにした。CS委員会も含めて、常任委員で検討して議事録を残されて、役員会で報告するということが機能出来るのではないかと。
- ・ 直前理事 岩本 悟:高瀬監事の意見に賛成である。定款第7条第5号記載を基に、年度の中で常任役員会で実施できるので、あえて特別委員会を作らなくても良いと思う。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二:岩本さんの意見でよいが、第二号議案は役員会で献金先を変更すれば良いと思う。次の役員会を待てない場合は、常任役員会で議論するのが慣例となってきた。
- ・ 理事 大野 勉:災害が起こった時の対応を明確にしておきたいと思っていた。特別委員会を設ける必要なく、また定款に含まれる事項であれば、本議案は取り下げたい。
- ・ 行政監事 松本武彦:今回されている委員会の目的が明確でないと思う。第二号議案は金銭的な支援の問題であり、防災の場合は体制活動も含まれている。この辺整理して頂いた方が上手く行くと思う。
- ・ 理事 大野 勉:マニュアル化も含めてかと思う。時間かかる部分があるし、動き出すのは難しいかと思う。マニュアルあれば良いが誰がどう作って行くかは今後になる。これまでの対応を整理して、ある災害を想定して検討して行きたい。組織検討・安全対策委員会にも関わってくるかと思う。
- ・ 直前理事 岩本 悟:今後への備えということであれば、組織・安全対策委員会の第2条で定められている通り提案を依頼しては。
- ・ 理事 大野 勉:議案は取り下げ、組織検討・安全対策委員会と相談して行きたい。

|       |                                                                                                                                                                                                                |      |                   |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------|
| 第5号議案 | YES 献金の取り扱いについて                                                                                                                                                                                                |      |                   |
| 議案内容  | 1) 献金額の内、4割を国際に送金し残りの6割は西日本区特別会計のエクステンション基金に繰り入れる。6割の根拠は、2期前までの1人目標2000円を昨年から500円に引き上げたので、その300円分<br>2) エクステンション基金の名称を、YES基金と改称する。<br>3) 今迄の設立時10万円、認証状伝達式時に10万円の支給をYES基金からの支払いに1本化する。(伝達式時の10万円は一般会計から支払っていた) |      |                   |
| 提案者   | 直前理事 岩本 悟                                                                                                                                                                                                      | 審議結果 | 賛成16、保留1 賛成多数にて承認 |

○質問、意見等:

- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康:確認であるが、国際に集められた2/3がエリアに還元されるが1/3区か。
- ・ 直前理事 岩本 悟:1/3は国際である。
- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康:国際での使途が明確になっていないので、1/3を区でプールするという意味か。
- ・ 直前理事 岩本 悟:そうである。
- ・ 次期理事 遠藤通寛:献金なのか基金なのか、JWFとCS等との例と同様に、使いづらいファンドにならないように文言を整理して頂きたい。また不明瞭という言葉は残さない方が良いのでは。

- ・ 直前理事 岩本 悟:先般の代議員会の資料を確認すると、「〇〇基金」や「大槻基金」等あるが、使えている基金もある。名称は何でも良い。名称は組織検討・安全検討委員会と話してもらいたい。
- ・ 財政問題特別委員長 濱田 勉:整理させて頂きたいと思う。個人的には良い事だと思う。送っているものを横取りするのでは無く、西日本区で整理した上で進めるという、方針を決議してはと思う。名称も基金か資金かもきちんと決めてやっけて行くのかも含めて決めて行けば。
- ・ 組織検討・安全対策委員長 浅岡徹夫:昨年度からやっけてはという議案であった。¥200→500 に増やしてこれを還元するというで良い。名前は基金でも良いのでは。新クラブが出来れば使われる、出来なければ使われず残るだけなので良いと思う。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二:大賛成である。三科 EMC 事業主任から国際に報告して頂かないといけない。表彰される方々には個別にご理解を頂く努力をしておかないといけないと思う(30 千円×2 人の例を基に説明)。
- ・ 直前理事 岩本 悟:名称については YES 基金そのまま継続。”しかしこれが不明瞭で、“という文言は議案書から削除する。

|       |                                   |      |                        |
|-------|-----------------------------------|------|------------------------|
| 第6号議案 | ワイズ・YMCAパートナーシップ検討委員会の設置をご承認頂きたい件 |      |                        |
| 議案内容  | 「ワイズ・YMCAパートナーシップ検討委員会の設置」を求める。   |      |                        |
| 提案者   | 直前理事 岩本 悟                         | 審議結果 | 賛成11、反対2、保留4 賛成多数により承認 |

○質問、意見等:

- ・ 六甲部部長 杉本隆人:もしこれに反対となった場合の交通費の捻出は。
- ・ 直前理事 岩本 悟:前回の役員会で前向きに進められているので、前提にはおいてなかった。
- ・ 財政監事 高瀬稔彦:検討委員会と西日本区役員会との関わりは。自身が理事の頃に、アジア YMCA 同盟と日本 YCMA 同盟が相容れない案を出してきて、アジアを断ったので。
- ・ 直前理事 岩本 悟:ワイズと YMCA の前向きな関係であると思うが、財政的な面まで依頼があることは想定していない。過去にもそんなケースがあったと思うが、その際は特別に調整して行かないとならないと思う。

|       |                                                                                                                                                                               |      |                                     |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-------------------------------------|
| 第7号議案 | JWF管理委員会規則 改正の件                                                                                                                                                               |      |                                     |
| 議案内容  | JWF 管理委員会規則 第5条を以下の様に改める。<br>第5条 本委員会は、理事及び6名の委員で構成される。この6名に付いては、理事以外の役員会議決権者をのぞくものとし、理事をのぞく委員により委員長を互選する。次期委員は区役員会において選出推薦され、次期理事が任命する。<br>2委員の選考にあたっては、地域性も考慮して選出されることが望まれる |      |                                     |
| 提案者   | ワイズ活動史編纂委員会委員長<br>大槻 信二                                                                                                                                                       | 審議結果 | 賛成16、保留1 賛成多数により承認<br>施行日:2018年7月1日 |

○質問、意見等:無し

15時35分 休憩

15時55分 再開

|       |                                                                                    |      |                            |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------|
| 第2号議案 | 2017-2018年度 第1回役員会 2日目の聖日早天礼拝献金贈呈先の件                                               |      |                            |
| 議案内容  | 当初議案の贈呈先は、東日本大震災復興支援金と熊本地震復興支援金に夫々半分ずつ繰り入れる。であったが、役員会前週に発生した九州北部豪雨緊急支援募金に変更する事の提案。 |      |                            |
| 提案者   | 理事 大野 勉                                                                            | 審議結果 | 九州北部豪雨緊急支援募金に変更の上、全会一致にて承認 |

○質問、意見等:

- ・ 阪和部部長 鈴木璋三:東日本大震災および熊本地震復興支援金という名称を変えて、豪雨災害へ充当するという意味か。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二:豪雨災害へ充当する場合。日本 YMCA 同盟経由であれば 7% 管理費留保があるか。
- ・ 西日本区連絡主事 有田征彦:今の段階で何%かは決まってないが、金額によって精査しながら決めて行くことになる。
- ・ LD 委員長 船木順司:提案理由は削除。
- ・ 瀬戸山陰部部長 福永君二:短期と長期が分かれているが、短期のどういう使われ方か。
- ・ 西日本区連絡主事 有田征彦:想定としては、被災地のボランティア支援、作業支援のために使う。リーダー、

学生が現地へ赴く交通費支援等である。

- ・ 結果:議案内容変更にて、全会一致で承認
- ・ 組織検討・安全対策委員長 浅岡徹夫:今の決定に反対は無いが、東日本、熊本支援の目標金額は変えない。プラスαでやって行くのか。
- ・ 理事 大野 勉:目標を明確にしたので新たな支援先を含め難い。当初目標は掲げながら常任役員会で検討して行きたい。

|       |                                                                   |      |          |
|-------|-------------------------------------------------------------------|------|----------|
| 第8号議案 | Y's Men's World の名称変更に伴う西日本区定款施行細則及び各種諸規則 改正の件                    |      |          |
| 議案内容  | Y's Men's World →YMI World の名称変更に伴い、西日本区定款施行細則及び各種諸規則の関連箇所の改正を行う。 |      |          |
| 提案者   | YMI 翻訳編集委員会委員長 谷本秀康                                               | 審議結果 | 全会一致にて承認 |

○質問、意見等:

- ・ 理事 大野 勉:YMI ワールドの冊子、組織の名称としても使われるのか。
- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康:省略名称として組織名でもYMIが使用されている。機関誌の方にはワールドが付く。
- ・ 次期理事 遠藤通寛:インターナショナルとワールドがつながるか
- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康:国と国、世界がつながるイメージである。
- ・ 六甲部部長 杉本隆人:このYMIのロゴは既に出てきているか。組織を言う時の。作らないといけないのではないか。
- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康:ロゴは特別に無い。自身は委員でない。
- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康:新しくチャーターしたクラブはMens 入れない。Y サービスクラブになっている。
- ・ ~~~~~
- ・ ワイズ詳細構想特別委員長 森田恵三)自己紹介。
- ・ ~~~~~

|       |                                                                                                                                                                             |      |          |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|
| 第9号議案 | 区報、研修会テキストなど西日本区発行印刷物データ保存および管理について                                                                                                                                         |      |          |
| 議案内容  | 西日本区発行の公式印刷物の製作は近年デジタル化されていますが、将来に亘っての保存および管理、情報のホームページUPについて審議をお願いします。<br>保存:西日本区事務所内に保存する。<br>保存方法:編纂委員会で検討し、提案(今期中)<br>HP公開ガイドライン策定:広報・情報委員会、常任役員および理事が指名するもので行い、提案(今期中) |      |          |
| 提案者   | 区報編集委員長 三浦克文                                                                                                                                                                | 審議結果 | 全会一致にて承認 |

○質問、意見等:

- ・ 財政問題等特別委員長 濱田 勉:ヒストリアンとして、大変な役目を受けたと思った。経緯を話すと、文献保存委員会が3年前までであった。西日本区事務所に保管しているし内規で決めた。これについての方法は西日本区事務所に引き継いで終わっているが、運用されていないとしたらフォローして行かないとならない。ヒストリアンは西日本区内の動きを把握するという役割と認識している。やはりこういうことはきちり西日本区事務所の業務分掌を明確にして行くことになると思う。少し整理しないとかならないと思う。保存することに加えて、研修関係の記録を含めて整理をしたいと思う。
- ・ 六甲部部長 杉本隆人:保存することも大切だが、活用の仕方についても規定も決めないとかならないのでは。
- ・ 区報編集委員長 三浦克文:これから検討して行くが、誰でも簡単に見えるといことにはならず、分けて整理しないとかなっている。

**協議案審議:**

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 第1号協議 | ポータルバズを今期中に導入できるかどうかご意見を頂きたい |
| 提案者   | 理事 大野 勉                      |

○質問、意見等:

- ・ 直前理事 岩本 悟:昨年度からの国際書記長 西村隆夫さんからの依頼である。東日本区は、昨年度は導

入してなかったが。

- ・ 理事 大野 勉: 東日本区事務所に確認したら使用しているとのことである。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二: 今はセキュリティ強化のために工事中となっている。理事、理事キャビネット、主任、部長は登録されていて、京都フロンティア、水前寺も登録されている。投票について、ポータルバズでしか投票できないということだったが、西日本区は断った。提案エリアのインドも昨年度は実施できなかったというのが現状である。新クラブは既に国際の指摘したデータに基づいて入れないとならない。クラブ会長や代理者が代理登録できることになっている。
- ・ 直前理事 岩本 悟: 4名は個人の希望か
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二: そうではなく、過去から国際の HP に Web 登録していた人が自動的に移行したということである。
- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康: バズとは何か、buzz 蜂などがぶんぶんするという意味のニュアンスである。国際への入り口であるということである。
- ・ 行政監事 松本武彦: Web 上のトラブルはどんなものか。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二: 最近皆さんもお聞きだと思うが、ウィルスのようなものを送り込んでデータを搾取する人が居るという事である。人間の英知とはいえ担保できるか保証が出来ない。
- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康: メールアドレスの乗っ取りなどがされて、偽情報が発信されてくる等の乱用の可能性があるということ。
- ・ 次期理事 遠藤通寛: 2015-2016 年度期にはしりがあつた。誰が入れるかの問題になった。出来ないことはないが、デメリットが多かったので推進しなかった。本質を説明頂きたい。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二: 西村書記長と話す中で、東西日本区は 100%国際へ国際費を送金しているが、国際では幽霊メンバーが多くおり、これを無くしたいのが本音であろう。ターゲットはあるエリアであるが申し上げない。
- ・ 次期理事 遠藤通寛: このような事情を把握した上で、協議して行って頂きたい。
- ・ ワイズ詳細構想特別委員長 森田恵三: 協議書にはメリットが 2 行しか書いていない。メリットが少なく、デメリットが多いという意味でロースターでできていて、国際に協力しないとしないのか。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二: メリットは限定地域でメーリングリストを作る事が出来る。Buzz の場合、サイトに自分へ届く情報が示されているのでこれを見ておけばある程度安心できるし、15 名以下のクラブの投票適用除外申請を一瞬の内にできる。国際送金についても会員にバックペイできる。
- ・ 六甲部部長 杉本隆人: クレジットカード要るのでは。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二: クレジットカード無しでの方法もある。
- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康: 特定のエリアが問題になっているが、次期の国際会長に立候補する人が多い。1 年間で会員数が 1,000 名ぐらい増える。会長任期が終わると 1,000 名減る、これはまずいのでペイド、ノンペイドメンバーを管理したいとの意味の流れであり、西村書記長の考えであろう。YMI2 号に載っているのでご参照頂きたい。
- ・ 理事 大野 勉: まだまだ検討の余地があると思うが、東日本区の現状も見ながら諮って行きたい。情報化の時代なので良い意味で活用できればと思う。

#### 委員長報告:

- 事務所運営委員会委員長 大野 勉: 事務所長の退職により理事が兼任。配布資料の内容を読み上げて報告。
- JWF 管理委員会委員長 岩本 悟: 配布資料の内容を読み上げて報告。7/16(日)第 1 回役員会終了後に 7 名全員で委員会を実施。別途配布した東日本区 2017 年 5 月号を参照。
- OLD 委員会委員長 船木順司: 配布資料の内容を読み上げて報告。2・3 回の委員会を経て次期会長主査研修会を実施する。複数回目の会長は特に欠席されるケースがあるので部長の皆さんから出席を促して頂きたい。委員が 11→9 名になっているので、各部から委員の推薦をお願いしたい。
- 財務委員会委員長 桑野友子: 配布資料の内容を読み上げて報告。明朗会計、スピーディに対応したい。収入が決まっているので支出は厳しくやって行きたい。
- 区報編集委員会委員長 三浦克文: 配布資料の内容を読み上げて報告。期限厳守でお願いしたい。期限を待って欲しい方は必ず連絡して頂き、その上で回答する。役職が異なったりするので再確認願いたい。写真撮影は三浦、森本、三牧であった。年齢的にも疲れてきている。Y's 活動を熱心に思い写真撮影をお願いできる方々をぜひご紹介願いたい。YMI について必ず読んで頂きたい。

- 組織検討・安全対策委員会委員長 浅岡徹夫:配布資料の内容を読み上げて報告。必要に応じてメールだけでなく、面会する委員会を実施する。
- クリスチャニティー委員会委員長 田上 正:書記 進藤啓介より、ご欠席につき資料を読んでおくよう連絡。
- 西日本区ワイズ活動史編纂委員会委員長 大槻信二:配布資料の内容を読み上げて報告。資料がある方を紹介頂き、収集に伺いたい。
- トラベルコーディネータ専任委員会委員長 中井信一:先般、直前石田委員長から引継いだ。実際の動きの際はまた各部部長さんへお世話になると思うがお願いしたい。
- YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康:編集委員長は東西で2年毎に交代している。東日本の前期は1回も発行されなかった。自身が拝命した期からは年4回、フル16頁版が多い。翻訳委員多くいるが期限間に合わないの一人で実施している。遅れがちだが発行して行くので、是非読んで頂き、参考にして頂きたい。今期は東日本区 田中委員長になる。西日本区からの発信が少ないので、翻訳あれば申込んで頂き協力する。
- ヒストリアン 濱田 勉:ヒストリアンは歴史を貯めて行く役である。大きな仕事だが担って行くのでよろしく願いたい。
- 財特委員会委員長 濱田 勉:財務委員会は単年度の会計運営で忙しいので、複数年に亘る役割を担う。昨年度の交通費増もあった。人数も見極めて財政の推移をまとめながら方針をまとめて行きたい。出来れば今期の内に方針を提案したい。ご意見お寄せ頂きたい。

#### ・意見交換

- ・区報編集委員長 三浦克文:各役員の写真を配布した。区報に入れる予定だがこれが気に入らない場合は自身から送って欲しい。区報表紙デザインコンセプト、神戸、六甲山、理事イメージしたものになっている。
- ・直前理事 岩本 悟:直前理事挨拶に漏れた。第20回西日本区95%締めて数十万円利益が出そうであり、被災支援に充てる議案出したい。大西市長へ熊本城復興支援資金を渡したので報告する。
- ・理事 大野 勉:ブリテン発行について、国際会長のお名前が周知されていなかったのをお詫び申し上げたい。ブリテン作成について主題確認お願いしたい。メーリングリスト活用お願いしたい。

#### ○1日目監事講評:財政監事 高瀬稔彦

- ・実直な大野理事、ちゃめつけのある進藤書記のコンビネーションで諸課題解決進んだのは上々の滑り出しだった。議案憂慮する事項散見されたのでお伝えしたい。
- ・ロースターP57にワイズの組織図が出ている。クラブの根本なので、しっかりと理解されていると思う。今日の第6号議案で判断が分かれた。反対と保留票が部長に多く上がった。もっとも大切にするのはクラブ会員、そしてクラブ、議案の決定内容は部長を通じてクラブ会長、会員へ説明される、会員一人一人の理解が進んで活動されることが大事。昨年度の部長にも議論された内容であり、部長間の連携を進めて欲しい。変えられるものは立法機関である役員会で変えて行くのは良いが、クラブ会員が置き去りにならないよう、皆さんが理解されて進められるよう徹底して頂きたい。ITの進化早期中、Y's組織が追従することは容易ではないが、中でも会員が変わって行くよう、役員会が運営されて行くようお願いしたい。自身も理事の際に突っ走ってご迷惑おかけした。理事が発議する議案が書記、会計ぐらいは連携できていたが、主任へ事前に伝わってなかったことがあったことの反省でもある。
- ・九州北部の被災地支援、明日の献金が振り替わるとのことで、被災地支援に取り組む念押しがあった。風化して行っていて、クラブからの支援金が減ってきている。仙台YMCAの学生支援400千円もまだ続いているが、年々減っているので、会員お一人お一人に説明浸透させていった上で、献金をお願いして行って頂きたい。
- ・丁寧な説明の上に、皆さんの理解がついて行くようお願いして監事講評としたい。

#### その他諸連絡:

- ・事務所職員 坂本千春:メーリングリスト(ロースターP43 記載)を用意している。大野期は経費削減のため、区事務所で作成、管理することにした。  
rd17@ys-west.or.jp 常任役員:大野理事、岩本直前理事、進藤書記、桑野会計、山田事務局長  
rd17s@ys-west.or.jp 主任グループ:主任5名+常任役員  
rd17b@ys-west.or.jp 部長グループ:部長9名+常任役員  
rd17x@ys-west.or.jp 常置委員会委員長+常任役員。  
各部毎のメーリングリストには部の中のメール委員だけで常任役員は入っていない。他部への連絡は部長グループを使用して頂きたい。

6月の西日本区大会終了後に6月末を目途に順次移行していく予定なので、その時点では不足が出るかもしれないが、その辺はご協力頂きたい。

17時45分 開会

~~~~~  
2017年7月16日(日):第2日

09時00分 開会

司会進行:書記 進藤啓介

理事挨拶:理事 大野 勉

議案審議:

議長:理事 大野 勉

・ 前日第1号議案 2017-2018年度 交通費支給基準の件についての説明

・ 提案者:会計 桑野友子

協議案審議:

第2号協議	ワイズ将来構想特別委員会の報告を受けて、ご質問、ご意見を頂きたい
提案者	理事 大野 勉

○報告:

・ ワイズ詳細構想特別委員長 森田恵三:ワイズメンの衰退に危機感を持ち、昨年11月の役員会にて委員会設置が承認されて発足した。今年の新春号の理事通信で設立趣意書、委員会規則等を載せて発行した。理事通信がどの程度読まれているのか不明であったので、区報61号にも載せて頂いた。衰退傾向にある活動に歯止めをかけて回復することである。東日本区も同様である。人数だけを増やすのであればそれなりの方法がある。人数の目標を立てることは良いが、殆どが達成できず終わっている。リバイバルで3,000人に戻るという事。

「ワイズ起こし運動」を続けて行く。すべてのクラブ会長や役員が目指しても年毎に変わると難しい。100周年の2022年を目指して5年間かけて進めて行くことにした。熱意を込めて1人1人が取組んで行くことであろう。準備期間が要るということで、2017/6まで進めてきた。元理事、元Yサ、EMC他3回の委員会を開催した。何と言っても今の現況を知る事である。アンケートを取ることにし84クラブ全部100%の回収をめざし、2017/3/1に発信、2017/3/末に回答、1ヶ月待って回収した。数字は正直だが、数字では分からないところもある。報告の裏ページの報告を紹介したい(配布資料に基づき説明)。

・ アンケート結果のクラブ数、中部8、びわこ部6、京都部19、阪和部8、中西部9、六甲部8、瀬戸山陰部5、西中国部6、九州部15である。ワイズバッジを付けないところが17/84クラブあるということである。  
・ その他の短答式と意見式も含めて分析を進める。

・ 質問、意見等:

・ 書記 進藤啓介:P60の中で”希望や夢が無い弱気な意見”は具体的に何があるか。

・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二:確認だけだが、部別のクラブ数と一項目数より多い場合があるが複数回答があるか。

・ ワイズ詳細構想特別委員長 森田恵三:複数回答である。よって合計はクラブ数を越えることがある。

・ 直前理事 岩本 悟:委員の一人として特徴に触れたい。1/4のクラブ規模別で見ると、ワイズバッジ付けないのはメンバーの少ないところと言える。これも一つの傾向である。

・ 六甲部部長 杉本隆人:データを資料請求すると頂けるか。

・ ワイズ詳細構想特別委員長 森田恵三:渡して活かしたいと考えている。部別の分類で精一杯であった。六甲部8クラブのデータを持っているが、固有名詞もあるのでこの辺で取扱いを考えている。これを部長と回答者で話して頂ければと思う。

・ 六甲部部長 杉本隆人:固有名詞は無しで良いし、自分なりに分析したいので誰にも見せない。

・ 直前理事 岩本 悟:部の活性化に有効活用して頂きたいので、見られるようにして頂くつもりである。各部で小委員会みたいなものを作って考えて行く等考えており、現部長が先頭に立って頂き協力して行きたい。

・ ワイズ詳細構想特別委員長 森田恵三:大勢居ればできるということではなく、まとめを委員会で考えた上で、50歳台までの若手や女性会員と意見交換して検討して行きたいので、部長から推薦頂きたい。

第3号協議	熊本大会で配布された記念ペンダントをベースとして、熊本城復旧応援を行う件
提案者	理事 大野 勉

○質問、意見等:

- ・ 直前理事 岩本 悟:自身が配ったものであるが、少しグレードアップしたもので販売して行くようなつもりである。
- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康:1回で何個を作るのか、1回分が完売した場合は追加注文するのか、例えば1,000個等
- ・ 理事 大野 勉:全部で10,000個作りたい。8個/人程度販売に協力頂けないかということと聞いている。
- ・ 直前理事 岩本 悟:直前CS主任 福島ワイズが経営する作業所で、ワイズだけの販売でなく、道の駅や新幹線の車内販売等のルートも開拓して行ければと思う。ロットは100、200個での追加注文はできると思う。
- ・ 書記 進藤啓介:数によってコスト、利益率に差が出ると思うが。
- ・ 直前理事 岩本 悟:製作費¥300/個でできるようなことになるが、10,000個でない。今回の区大会は800個作った。作業所で作ってもらっているのだから、500個、300個というロットでは可能と思う。
- ・ LD 委員長 船木順司:単純に計算すると、京都部で2,261個、各クラブに主旨説明して販売するが現実的か。京都部は特にそうだが、いろいろな意見が出てくる。クラブ単位でノルマを設定すると違和感が出てくる。九州部で提案があり、それに賛同するクラブが協力する方が良いのでは。京都部部長 竹園憲二部長に聞きたい。
- ・ 京都部部長 京都部部長 竹園憲二憲二:割り当てで何個でとるときつい。船木さんのご意見のような形で進める方がより良いであろう。
- ・ YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康:岩本直前理事の仰ったとおり、ワイズ内で10,000個という訳ではない。ワイズ内で仮に負担すると京都部では2,261個になるということであろう。ワイズ内外の比率はどの程度か。
- ・ 理事 大野 勉:協議なのでノルマではなく、逆にご意見聞きたい。
- ・ 六甲部部長 杉本隆人:簡単に考えているが、道の駅やKIOSK だったら半分以上取られるので安易な考え方。内々でやる場合は良いが、誰が責任者になるのか、その辺はもう少しシビアに考える方が良いのでは。物販より¥100/個でファンの方が良いのでは。
- ・ 直前理事 岩本 悟:責任は製造元、住所、電話番号も入るので責任はこの法人になる。ルートは強力なコネのあるところではないといけない。
- ・ 京都部部長 竹園憲二:製造にも意味があるということなので、協力を先に要請して参加してもらい、部会や周年行事等。
- ・ 直前理事 岩本 悟:障がい者支援とY'sの広報も担って行きたい。
- ・ 行政監事 松本武彦:「くまモン」は熊本県が作ったキャラクターであり、県の販路拡大、振興とは少し主旨が異なる。許可制から届け出制になっているので要確認である。

部長報告:

- ・ 中部部長 山内ミハル:クラブが離れており、方針を集めたが、返答が少なく苦労した。方針は変更なく、年内に各クラブ訪問、出来るだけ他部部会訪問をしたい。部報、評議会を年3回実施して行きたい。5月の評議会は当期と次期が介して引継できるが、予算計画が難しい。出来れば今期に富山にクラブができたらと思うので協力頂きたい。
- ・ びわこ部部長 松岡義隆:今期半年報出て6名減の104名でスタートした。EMCを上期の重点目標にして、部内のクラブ会長との情報交換を進め、各クラブの会員増強とびわこネックス構想に前向きに取り組んで行きたい。今期の活動は配布資料の通り。最後にびわこ部部会で
- ・ 京都部部長 竹園憲二:各主査の思いを知るために主査懇談会を進めている。部長公式訪問はY'sデーを知って頂くために早めの訪問も実施中。サバエキャンプ場のワークも実施した。6クラブの周年記念例会聞いている。日程記載しているので、ぜひご参加頂きたい。
- ・ 広報主任の復活を願っている訳ではなく、広報がより活発になるようお願いしたいと思う。
- ・ ワイズバッジ、配布したサンプルで着物にも付けられるようなものを作れないか提案お願いしたい。
- ・ 10/14のY'sデーのチラシが出来あがってきた。出来るだけ多くもっていけるよう力を入れているのでよろしくお願いしたい。
- ・ 阪和部部長 鈴木璋三:部長公式訪問を続けている。6クラブ終わったが、各主査が全員同行してくれ、一言ずつ話す機会も頂いている。各部会への積極的な参加も考えている。阪和部部会に沢山いらして頂ければありがたい。阪和部は3つのYMCA(奈良、大阪、和歌山)に関係するので、各々協力して行く。部報第1号が

もうすぐ発行できる予定。その他は配布資料の通り。

- ・ **中西部部長 大村 肇**:活動方針は変更なし。半年報が出揃い8名減の120名のスタートになった。将来構想でもあったように EMC に注力して進めていきたい。EMC 推進チームを復活させたく、若手を取り込んで7月一杯でメンバー決めて EMC シンポジウムまでに顔合わせしたいと考えている。YYY フォーラムは整備と交流を兼ねて六甲山 YMCA で実施する予定。メネット事業の支援先はほぼ決まったが、今後発表出来る予定。ピンクシャツデーも併せてメネット会を実施する。5/20 うなぎの森植樹祭を実施する予定。
- ・ **六甲部部長 杉本隆人**:西日本区大会実行委員会を10回程度実施して煮詰まりつつある。理事輩出部なので良い大会にするのでぜひお越し頂きたい。卓話者を登録して共有しようとしていて、反論もあるが1年かけて実施していきたい。HP 活用を更新できるよう積極的に進めて行く。クラブ公式訪問は3クラブを終え、7/12宝塚2名、7/13ポート1名入会、来週芦屋クラブ2名の入会に立会が出来ている。六甲部部会を神戸 YMCA 新館チャペルで実施するのでぜひいらして頂きたい。
- ・ **瀬戸山陰部部長 福永君二**:計画を出してから変化が起きている。半年報64→62名のスタートとなった。次々期部長が決められない、ということから部の再編問題が出てきた。とりあえず次期部長は輩出できたが、各メンバーが主役になって活性化、地域のYMCAとの協働が出来ているか考えるべき。先般鳥取クラブ井上さん転会祝いを兼ねて実施したが、スタッフレスYMCAしかない。YMCAが休会になっていることはY'sの死活問題であり、真剣に考えないとならない。明日第1回評議会を実施予定で三科 EMC 事業主任もいらして下さる。YMCA 総主事同席の検討会の予定だったが、予定変わった。再編というより地域YMCAを支援するという原点に立ち返って進めていきたい。新年会でYMCA 総主事に来てもらって協働を考えて行く。ぜひご協力をお願いしたい。
- ・ **西中国部部長 辛島清孝**:方針は変わっておらず、クラブ間の連携を。西中国部は横の連携が取れていないとの申し送りがあったので、出来るだけ各クラブのプログラムや活動に参加しようと考えている。EMC シンポジウム100人委員会で推進して行きたい。昨期は72→82→80名となっているので、責任を持って推進して行きたい。出来るだけ相互にクラブのプログラムに参加してもらおうと考えている。後は配布資料の通り。10/26 チャリティーゴルフは中洲に訂正。部長杯である。後期だが広島クラブ70周年に全力を挙げて取り組む
- ・ **九州部部長 小田哲也**:九州豪雨災害対策は北九州 YMCA と連携して対策を検討中。熊本地震復興委員会も宮崎直前部長が委員長となって継続している。EMC シンポジウムを実施。306→299名、福岡中央2名入会で301名になった。10/1九州部会、駅近なのでぜひいらして頂きたい。メネット事業主題でフードバンク福岡の方の講演を計画中。阿蘇の赤牛の丸焼きを楽しみにいらして頂きたい。チャリティーランにもおいしいもの食べにいらして頂きたい。ピンクシャツにYMCAロゴをどうやって入れて行こうかと一緒に考えている。もう少し薄いピンク色も含めて考えて行きたい。部会には間に合わないが、2月のピンクシャツデーに間に合うように。

#### 質疑

- ・ 理事 大野 勉:京都部提案のデザインできているか。バッジはそのまま使えるという事か。
- ・ 京都部部長 竹園憲二:バッジでなくとめるピンをこうできないかという提案である。そのまま使える事である。
- ・ 書記 進藤啓介:YMCAのロゴが発表されるが
- ・ 全員:Y'sは関係ない
- ・ 書記 進藤啓介:大槻さんリードして頂きたい。
- ・ 西日本区ワイズ活動編纂委員長 大槻信二:チャーターバッジ2つあるのでカウスボタンにしてしまった。
- ・ 京都部部長 竹園憲二:バッジを触らないのならクラブファンにしても良い等のガイドラインがあれば良い。
- ・ ワイズ詳細構想特別委員長 森田恵三:東日本区も関連するのでまず物品と相談しては。
- ・ 理事 大野 勉:問合せして常任役員で検討して理事通信で紹介する。
- ・ 直前理事 岩本 悟:小田哲也部長、阿蘇クラブ10周年10/8→10/7に変更となっているようなので確認願いたい。

10時55分 休憩

11時05分 再開

#### 日本 YMCA 同盟報告:

- ・ **西日本区連絡主事 有田征彦**:6/17(土)日本 YMCA 同盟協議会でブランドスローガン、ロゴが発表された。2016/6にブランドコンセプト(Vision, Value, Personality)が発表され、2017/6にブランドスローガン、ロゴの発表となった。ロゴの載ったTシャツはYMCA同盟協議会での発表の際にお渡しした記念品で、全国で250着しかないものである。2017/10/1に一斉発表するので、今は内部で浸透させて行く共感醸成期間である。大阪YMCAでは翌々日にスタッフへ説明をしていた。その他、全国のYMCAに浸透させて行っている。Y'sも内部

だと考えているので、各 YMCA の説明会およびブランドブックにて知って頂きたいと思う。

- ・ 配布資料を読み追加説明。
- ・ ロゴは 100 以上の候補から 37 通り、そして 1 つに絞られた。ロゴの愛称はポジティブ Y である。
- ・ ようやくスタートラインに立ったところである。ブランドに合った事業を推進して行くことになるので、2017/10/1 以降に YMCA が変わって行く姿を作って行く予定。
- ・ **YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康**: ブランドブックは未だ拝見していないが、リブランディングの中でクリスチャニティーの位置づけはどうか。
- ・ **西日本区連絡主事 有田征彦**: 全国のタスクチームで 3 年間かけて検討してきた。10,000 人以上のアンケート結果を基に、クリスチャニティーの位置づけは変わらないが、ブランディングという観点で外に出す場合には表出させていない。
- ・ **YMI 翻訳編集委員長 谷本秀康**: 個人としてどうこう言っている訳ではないが、YMCA 以外の組織が出しても当てはまるかなと思うので、少し残念かという個人の認識である。
- ・ 早天礼拝の献金 37,110 円を日本 YMCA 同盟へ贈呈。

#### その他諸連絡:

- ・ **理事 大野 勉**: 主任通信を発行される場合は西日本区 HP へ Up するので理事キャビネットへご連絡頂きたい。訃報については西日本区から各会長へは発信されないで、部長には各クラブへ転送頂きたい。昨日の東日本区役員会で 2019 年にアジア地域大会を仙台で実施することが決議されたとのことなので、ぜひ協力願いたい。チェンマイでのアジア太平洋地域大会ではカルチャーナイトがあり、西日本区で出し物が必要で、「炭坑節」を踊ることにしたいので準備願いたい。豆絞りは大野が持参する。浴衣持参できる方はどうぞ。うちわもできれば準備願いたい。
- ・ **書記 進藤啓介**: 次期役員研修会が 10/20(土)-21(日)に開催されるので各部長は次期の方に確認をお願いしたい。11 月の第 2 回役員会はグリーンヒルホテル神戸で実施する予定。各部会の内容を HP へ載せたいので、費用や申込み等細かい情報を西日本区事務所へ渡して欲しい。京都部は既に頂いているのでその他の部をお願いしたい。また周年行事の情報を頂ければ書記から各部へお知らせするので連絡頂きたい。半年報出揃っていると聞いているので内容を確認する。訃報は西日本区事務所の稼働日以外もあるので、常に西日本区事務所と書記へメールで連絡するというようお願いしたい。
- ・ **理事事務局長 山田滋己**: 本役員会のワークブックは WORD の目次機能を使い編集したので、PDF のデータファイルでも、目次の項目をクリックすれば該当箇所へジャンプするように作っている。ぜひご活用頂きたい。また昨日話した電子データの保管についても合わせて実施して行く。
- ・ **西日本区事務所 生雲文枝**: 半年報を基に各会長さんへ区費の請求をお送りするので振込用紙で振り込んで頂きたい。部活動支援費は区費が収められたことを確認して送金するので、各会長へお知らせ頂きたい。
- ・ **西日本区事務所 坂本千春**: 部会の情報について、欠損があってはいけないので、メールで西日本区事務所へ情報を頂きたい。随時広報委員長へ送って更新頂く。昨日お配りした東日本大震災復興レポート、各クラブへ 1 部ずつ部数を部長さんへ送付するので、部長から各クラブ会長にお渡し頂きたい。
- ・ **京都部部長 竹園憲二**: 京都部部会の件で 6/30 を締切りにしていたことについて補足説明をしたい。部会の配席にアレンジを加え、出来るだけ交流頂けるように検討しているためである。変更は可能なのでご連絡よろしく願いたい。地域をあげた交流が良い事に繋がればと考えている。
- ・ **瀬戸山陰部部長 福永君二**: 歯ブラシ頂きお礼申し上げたい。また貯めて頂きお渡し頂ければと思う。
- ・ **直前理事 岩本 悟**: 今回の JWF ¥306,000、EF ¥108,000 が集まった。お礼申し上げたい。半年報集計結果が出たら常任役員へお知らせ頂きたい。部会の情報について交通の手配があるので開始時刻、終了時刻も連絡願いたい。ロースターの発行が未だであるが何時頃の予定か。
- ・ **書記 進藤啓介**: 7 月頭に印刷しているのでもう少しで届く予定である。
- ・ **直前理事 岩本 悟**: 東日本区はデータ出ているが西日本区は未だとの事だったので確認した。
- ・ **国際交流事業主任 金澤市郎**: EF 献金お礼申し上げたい。杉本部長、森田委員長以外で ¥1,000 お 2 人どなたか入れて頂いたが誰か不明なので確認したい⇒後で確認する。

#### 監事講評: 行政監事 松本武彦

- ・ 主任報告、部長報告、今年度の活動が具体的に動いて行っていることを認識でき、みなさんの前向きな思いも分かった。活動を進めて行く上で各部課題もあろうが他部の事と思わず共有して進めて頂きたい。YMCA か

らブランディングの報告を受けて理解が進んだのではないかと思いますので、しっかり理解して支援して頂ければと思う。新たな将来を睨んでの動きをメンバー皆さんへ周知するようお努め頂きたい。将来構想については西日本区全クラブ実態調査アンケート結果を見て繋げることになる。昨日今日だけでなくしっかりと把握して進んで頂きたい。防災特別委員会について、天候や地殻変動から来る災害が多くなっているのので、早急に検討し体制を構築頂きたい。YMCA とワイズの関わりについても情報を流してもらい検討して行って頂きたい。

12 時 00 分 閉会

以上

2017-2018年度第2回役員会

議長 西日本区 2017-2018年度 理事 大野 勉 殿

提案者 役職名 西日本区理事  
氏名 大野 勉

## 西日本区第2回役員会 議案書

【第2号議案】 **承認**

<p>議案名</p> <p>2017-2018年度 西日本区第2回役員会第2日の聖日早天礼拝献金贈呈先の件</p>
<p>議案内容</p> <p>第2回役員会の聖日早天礼拝において寄せられた献金については、東日本大震災復興支援・熊本地震復興支援金に繰り入れる。</p>
<p>提案理由</p> <p>今期の重要事業の一つとして引き継がれている東日本大震災復興支援、熊本地震復興支援に係る西日本区の目標額300万円以上を達成するための一助とさせていただきたいと思えます。</p>
<p>【アジェンダ資料】 *議案のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。</p> <p>議案のタイプ <input checked="" type="checkbox"/>問題解決 <input type="checkbox"/>連絡 <input type="checkbox"/> ( )</p> <p>緊急性 <input checked="" type="checkbox"/>緊急を要する <input type="checkbox"/>要しない ★ 月 日までに解決の必要</p> <p>必要時間( 3 )分 資料( ) 出席を要請すべき人( )</p>
<p>【提出期限】10月23日(月)必着 複数の議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。</p> <p>開催日:2017年11月11-12日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909</p>

2017年 10月 18日

2017-2018 年度第 2 回役員会

議長 西日本区 2017-2018 年度 理事 大野 勉 殿

提案者 役職名 直前理事

氏 名 岩本 悟

## 西日本区第 2 回役員会 議案書

【第3号議案】 **承認**

<b>議案名</b> 第20回 西日本区大会 会計決算報告 並びに余剰金処分案承認の件
<b>議案内容</b> 1) 本年6月に開催された第20回西日本区大会における会計決算報告 承認の件 2) 余剰金処分案として 737,918円を被災者支援と、理事ゴール達成の一助にするために、 東日本大震災復興支援金として 368,959円、 熊本地震復興支援金として 368,959円を夫々拠出する事にご承認頂きたい件
<b>提案理由</b> 議案内容の通りです
<b>【アジェンダ資料】</b> *議案のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。 議案のタイプ <input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> アイデアがほしい <input type="checkbox"/> 問題解決 <input type="checkbox"/> 連絡 <input type="checkbox"/> ( ) 緊急性 緊急を要する 必要時間( 5 )分 資料( ) 出席を要すべき人( )
<b>【提出期限】</b> 10月23日(月)必着 複数の議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。 開催日:2017年11月11-12日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909

## 第20回(2016.7.1-2017.6.30) 西日本区大会 決算報告書

会計 徳永 泰雄

収入の部	金額	備考
大会参加費 通常	2,772,000	22,000円×126名
早割	12,140,000	20,000円×607名
ユースロケット(中学生以下)	50,000	10,000円×5名
フェロシップアワー	494,000	4,000円×124名
元理事懇話会・連絡主事の会	27,000	1,500円×18名
メネットアワー	176,000	2,000円×88名
第20回西日本区大会支援金	680,000	西日本区会計より
シャトルバス利用料収入	675,000	片道1,000円×675名
西日本区分 会場資料料	79,130	代議委員会など会場使用料
お弁当売上	237,201	代議委員会、当日販売分
熊本市コンベンション協会助成金	700,000	コンベンション助成金40万、バス助成金30万
受取利息	175	
合計	18,232,506	

支出の部	金額	備考
結核委員会	474,270	
総務・会計委員会	1,571,481	
登録・受付委員会	2,109,858	
広報委員会	2,565,980	
第一プログラム委員会	1,532,234	
第二プログラム委員会	7,327,222	
会場運営・設営委員会	1,524,703	
接遇・接待委員会	19,900	
メネット会	181,500	
聖日礼拝委員会	127,460	
合計	17,894,588	
余剰金	737,918	

### 監査報告書

監査日時 2017年 10月 2日 14時～15時15分

監査場所 有限会社FPパートナー 事務所にて

提示を受けた、決算報告書並びに各委員会毎の支出明細 通帳・請求書・領収書を厳正に監査の結果、適正である事を確認しましたので、ここに報告いたします。

監査人 西日本区直前理事 岩本 慎

監査人 西日本区直前会計 森 律子



2017-2018年度第2回役員会

議長 西日本区 2017-2018年度 理事 大野 勉 殿

提案者 役職名 Yサ・ユース事業主任  
氏名 山川 新一

## 西日本区第2回役員会 議案書

【第4号議案】 **取り下げ**

<p><b>議案名</b></p> <p>2018年 インターナショナル・ユース・コンボケーション(IYC)参加者推薦案内に関する案</p>
<p><b>議案内容</b></p> <p>2018年 インターナショナル・ユース・コンボケーション(IYC 日程:8月6日～12日 場所:韓国 Yeosu)の参加者推薦のお願いについて</p>
<p><b>提案理由</b></p> <p>例年、インターナショナル・ユース・コンボケーションの参加者推薦は国際より案内が来てから行っていますが、12月中旬に案内をして正月を挟んで1月中旬に締め切るのでは十分な推薦検討の期間が得られない為、予め現在把握している情報(開催期間と開催場所)のみで案内を行い広く西日本区内にアピールをし参加者を募りたい。</p>
<p>【アジェンダ資料】 *議案のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。</p> <p>議案のタイプ <input checked="" type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>アイデアがほしい <input type="checkbox"/>問題解決 <input type="checkbox"/>連絡 <input type="checkbox"/> ( )</p> <p>緊急性 <input type="checkbox"/>緊急を要する <input checked="" type="checkbox"/>要しない ★ 月 日までに解決の必要</p> <p>必要時間( 05)分 資料( 無し ) 出席を要請すべき人( 無し )</p>
<p>【提出期限】10月23日(月)必着 複数の議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。</p> <p>開催日:2017年11月11-12日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909</p>

2017-2018年度第2回役員会

議長 西日本区 2017-2018年度 理事 大野 勉 殿

提案者 役職名 西日本区理事  
氏名 大野 勉

## 西日本区第2回役員会 議案書

【第5号議案】

**承認**

<p>議案名</p> <p style="text-align: center;">西日本区の発展を希求するビジョンおよび基本計画案承認の件</p>
<p>議案内容</p> <p style="text-align: center;">「西日本区の発展を希求するビジョンと基本計画(案)」(別紙資料) を承認する件。</p>
<p>提案理由</p> <p>前期岩本理事期に設立された「ワイズ将来構想特別委員会」が、これまで12回にわたって開催された。その中で、様々な分野から意見を聴取したり、全クラブアンケートを行ったりすることで西日本区の実態を把握し、将来構想のために何が必要か熱心に討議されてきた。</p> <p>そのような話し合いの中で作り上げられた標記の案をご承認いただき、次のステップへ共に進展していきたいと考えている。</p>
<p>【アジェンダ資料】 *議案のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。</p> <p>議案のタイプ <input type="radio"/>問題解決</p> <p>緊急性 <input checked="" type="checkbox"/>緊急を要する <input type="checkbox"/>要しない      ★ 月 日までに解決の必要</p> <p>必要時間( 10 )分 資料(                      ) 出席を要請すべき人(                      )</p>
<p>【提出期限】10月23日(月)必着 複数の議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。</p> <p>開催日:2017年11月11-12日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909</p>

2017年10月10日

西日本区理事  
大野 勉 殿

ワイズ将来構想特別委員会  
委員長 森田 恵三  
副委員長 岩本 悟  
委員一同

## 「西日本区の発展を希求するビジョンと基本計画案」について

1. 1997年7月日本区ワイズが分区されて以来20年間、東西両区ともに拡大への期待もむなしく、加速的な会員減少と高齢化が進行しました。  
この現状を危機と捉えた西日本区としては、この衰退傾向に歯止めをかけ、発足時のワイズ力を取り戻す建て直し施策として、2016年7月開催の第1回役員会にて「ワイズ将来構想特別委員会」の設置が承認されました。  
引き続き11月開催の第2回役員会にてワイズ将来構想特別委員会設置趣意書・委員会規則・委員会構成が承認され、区報第2号通巻61号と理事通信新春特別号により公知されたあと、2017年年初からその趣意に基づく委員会活動を開始しました。
2. ビジョンと基本計画案策定の前準備として西日本区の現状把握のため、次の作業に取り組みました。
  - ①元理事とEMC・YMCAサービス・CSの現元事業主任・LD・2000推進の元委員長らとの意見交換会を開催(1～4月)
  - ②大規模な「西日本区全クラブ実態調査」アンケートの実施(短答式128項目・意見式14項合計142項目)と全84クラブの回答を回収(3～4月)  
このアンケート結果概要報告は、回答いただいた各クラブと部長には配布し、理事通信2017年8月1日号にて公表しました。
  - ③アンケート分析作業(部別・規模別・クラブ別・意見記述集計)クラブ会員年齢表・クラブ平均年齢分布表・会員年代別表・部会別会員推移表の作成(5～8月)
  - ④上記③の資料を一活して各部長に配付し、部長・次期部長とその後引き継いでいただく貴重な参考資料として活用を要望いたしました。
3. 上記の現状把握資料を参考として、委員会の度重ねた意見集約の結果、10月8日開催の第12回委員会において「西日本区の発展を希求するビジョンと基本計画案」の作成作業を完了いたしました。  
云うまでもなくこのビジョンと基本計画案は、西日本区全会員が願望として共有する目標を明示するものであります。
4. 基本計画案には、高める質に伴う量的拡大の道程を歩むために必要と考える重要な項目を掲示しています。  
基本計画の実行にあつては「新生ワイズ起し運動」として全会員が取り組むべきことではありますが、その中核としての活動が期待される実働チームの編成が必要不可欠であるとの意義も明示しています。  
当委員会としては、西日本区ビジョンと基本計画実行の成否は、一に当委員会と実働チームによる強い連携と情熱溢れる努力、加えて、全会員の心ひとつにした会員増強への飽くなき熱意と活躍に掛かっているとの確信をもって本案を提出いたします。

# 西日本区の発展を希求するビジョンと基本計画案

## I. 西日本区ビジョン(ワイズの未来に向かっての理想像)

### 誇りと情熱をもって社会に貢献する前向きで逞しいワイズ

(註)愛と奉仕のワイズ精神を基盤とし、会員相互に切磋琢磨して高め合い、楽しく付加価値の高いクラブ活動を展開し、誇りと情熱をもって社会への貢献に努め、内外から認知され評価される良質な奉仕クラブを目指したい。

## II. 基本計画<重要項目>

### 1. 部・クラブのビジョン・目標・実行計画

- ① 西日本区の厳しい現状を直視し、全会員が自クラブの活性化と会員増強に尽力し「新生ワイズ起こし運動」を積極的に展開する。
- ② 国際ワイズの100周年、西日本区の25周年記念を迎える2022年を目指し、各部および各クラブがビジョン・目標と実行計画を設定し実施に移す。

### 2. 組織風土の改革

- ① 区組織のスリム化を含め、時代変化と将来性・継続性を考慮した効率的・効果的な組織に変革し、最適な組織運営に尽力する。
- ② 部長と会長の連携協調を強化し、風通しの良い組織風土を醸成し、ワイズ変革に向けて会員の意識改革とクラブの活性化を推進する。
- ③ 次代を担う活力ある会員を積極的に登用し、改革の実働組織として誇りをもって活躍してもらう。区や各部においても率先して推進する。
- ④ ワイズは会員一人ひとりの自己実現と成長を図る自己研鑽の場との共通認識の基に会員相互に高め合い、例会を基本とするクラブ活動で培った奉仕の心をもって社会奉仕を実践する組織へと更なる成長を目指す。
- ⑤ 区・部・クラブのリーダー育成に一層の努力を傾注すると共に、有能な人材を発掘し、人材バンクを設置するための仕組みを検討する。

### 3. 質量相俟った会員増強の推進

- ① 区・部・クラブにおける研修体制の現状が適切か否か各々検証し、実効ある研修体制を確立する。研修資料についても必要に応じて再整備する。その結果会員の資質の向上、指導者の育成を強化し、ワイズのレベルアップを図る。
- ② 良質の会員、特に若者や女性の入会勧誘に努め、新しい発想や企画・提案を尊重した、時代に適応したワイズ活動へと変革を進める。
- ③ 新クラブ設立のため各部ごとに有効な戦略を展開する。新クラブの候補に対して区は他の部、クラブからも支援するように積極的に働きかける。
- ④ 高齢化に悩むクラブや会員少数のクラブには、部が主体となって再興支援に努め区も積極的

に支援する。

- ⑤ 会員勧誘のための新企画、例えばワイズグッズや共通パンフレットなどを新鮮な発想で企画・開発し、活用する。

#### 4. 広報・情報発信機能の強化

- ① ワイズの社会的認知度を向上するため、独自の社会貢献活動のアピール・広報を強化する。特に国際的奉仕団体としての具体的な活動を内外に広報する。
- ② 全会員への情報伝達完全化のため西日本区ワイズコム開設とIT遅れのクラブにIT活用を指導支援する。

#### 5. YMCAとの協働関係の改善

- ① YMCAのスローガン「みつかる。つながる。よくなっていく。」をYとY'Sの共通認識として、協働の在り方を明確にしたうえで、YMCAとの連携を強め相乗効果を高めて、ともに社会的認知度・好感度を高める。
- ② YMCAリーダーとOB・OGとの交流連携を深め、ワイズの理解者、良質な入会候補者として永続的な友情を育む。
- ③ 連絡主事の使命と役割を明確にし、YMCAとワイズの意思の疎通や連携を一層強化する。

#### 6. 地域奉仕のあり方改善

- ① ワイズ独自の誇れる社会貢献活動の柱を幾つか持ち、その事業に一般の方も積極的に巻き込んで進める。事業の例としては障がい者支援、高齢者支援、子育て支援、被災者支援、環境問題への対応などがあり、時には他の団体とも協力して実施する。その結果も内外に発信する。
- ② 西日本区や各部として、ワイズ独自の社会貢献に資する統一のシンボル活動を企画し、認知度・好感度を高揚する継続事業を展開する。ワイズデーには全国又は各部統一の同時共通のアピールイベントとして実施する。

### Ⅲ. 基本計画の実行

- 1. ビジョン・基本計画の実現に向けて、情熱と行動力を持続できる献身的で有能な実働チームを編成組織して、2022年に至る具体的な Action Plan を設定して事業として推進する。
- 2. 基本計画を推進するための活動資金については、別途検討し提案する。

以上

本案作成

ワイズ将来構想特別委員会

2017-2018年度第2回役員会

議長 西日本区 2017-2018年度 理事 大野 勉 殿

提案者 役職名 西日本区理事  
氏名 大野 勉

## 西日本区第2回役員会 議案書

【第6号議案】 **取り下げ**

<p>議案名</p> <p>YES 献金の用途を変更し、西日本区内で有効に活用できるものにする件</p>
<p>議案内容</p> <p>今期の YES 献金を全額、西日本区にプールする。</p>
<p>提案理由</p> <p>第1回役員会第5号議案「YES 献金の取り扱いについて」 6割を西日本区にプールし、活性化のために活用することが承認された。 今回は、献金先が国際でなく、地域預かりとなったことから、まず、 西日本区に全額プールした方が有効ではないかと考えるところです。</p>
<p>【アジェンダ資料】 * 議案のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。</p> <p>議案のタイプ <input checked="" type="checkbox"/>問題解決 <input type="checkbox"/>連絡 <input "="" type="checkbox"/>緊急を要する <input type="checkbox"/>要しない ★ 月 日までに解決の必要</p> <p>必要時間( 10 )分 資料( ) 出席を要請すべき人( )</p>
<p>【提出期限】10月23日(月)必着 複数の議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。</p> <p>開催日:2017年11月11-12日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909</p>

## 西日本区第 2 回役員会 議案書

### 【第7号議案】 **修正議決**

<b>議案名</b>  西日本区事務所移転の時期および機器等充実の件
<b>議案内容</b>  当初、2018 年 4 月に引越しを予定していたが、前の借り受け者が2月初めに退室することから、駅近で便利な事務所であるので、引越しの時期を早めたい。 また、3 月 4 月は、運送業者も忙しく、費用も高くつくため、早めの方がよいと考えている。 また、この機会に IT 機器の充実を図りたい。 その費用については、西日本区発展のためということもあり、JWF より出金願いたい。
<b>提案理由</b>  昨年度から、西日本区事務所は、2人体制となり、さらに、週 4 日勤務となっている。 西日本区内および国際との連絡はそのほとんどがメールやウェブで行われており、機器が異常をきたすと非常事態となるのが原稿である。現に、インターネットが繋がらなかつたり、つながりにくかつたりすることが数回あった。 新しい事務所への移転はすでに、昨年度決定されている。事務環境をよくするためにも、早期の移転、PC 機器の充実を図りたいものである。
<b>【アジェンダ資料】</b> * 議案のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。  議案のタイプ ■問題解決 □連絡 □( )  緊急性 ■緊急を要する □要しない ★ 月 日までに解決の必要  必要時間( 10 )分 資料( ) 出席を要すべき人( )
<b>【提出期限】</b> 10 月 23 日(月)必着 複数の議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。 開催日:2017 年 11 月 11-12 日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909

2017年 10月 23 日

2017-2018 年度第 2回役員会  
議長 西日本区理事 大野 勉 殿

提案者 役職名 西日本区会計  
氏名 桑野 友子

## 第2回西日本区役員会 議案書

【第8号議案】 **取り下げ**

<b>議案名</b>  2017-2018 年度西日本区予算修正の件
<b>議案内容</b>  当期(2017-2018 年度)予算の繰越金を、前年度(2016-2017 年度)の決算が提出された段階(例年 8 月)で修正予算として提出したい。  前年度(6 月)の代議員会で当期予算案の承認を得る際、「前期決算の監査が済んだ後、今期予算の繰越金のみ正確な金額と入れ替える」ことの承認を取ることが最も望ましい。
<b>提案理由</b>  当期の予算案は前年度 4 月に作成しますが、当然前年度の決算は出ておりませんので、前々年度の繰越金をもとに作成します。前年度の決算で収支の差額が大きくなった場合、前々年度の繰越金のままでは、当期の予算は実態と異なった数字でスタートすることになります。  予算ですから、期中に想定外の収入・支出があるかもしれませんが、期首繰越金は正しい数字を使いたいと思います。
<b>【アジェンダ資料】</b> *議案のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。  議案のタイプ ■問題解決 □連絡 □( )  緊急性 ■緊急を要する □要しない ★ 月 日までに解決の必要  必要時間(10)分 資料( ) 出席を要すべき人( )
<b>【提出期限】</b> 10月23日(必着)複数の議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使いください。 開催日: 2017 年 11 月 11 日~ 12 日 会場: 神戸グリーンヒルホテル

2017年10月23日

2017-2018 年度第 2 回役員会  
議長 西日本区理事 大野 勉 殿

提案者 役職名 西日本区理事

氏名 大野 勉

### 第2回西日本区役員会議案書

【第9号議案】

**修正議決**

<p>議案名</p> <p style="text-align: center;">次年度、韓国・麗水(ヨス)における第73回国際大会・IYC</p> <p style="text-align: center;">オフィシャルエージェント募集及び選定の件 <i>と常任役員会に一任</i></p>
<p>議案内容</p> <p style="text-align: center;"><del>第73回国際大会は、韓国・麗水市で開催されます。</del></p> <p style="text-align: center;">大会参加者の利便性向上のため、オフィシャルエージェントを募集し、</p> <p style="text-align: center;">応募のあった中から選定したい。<i>と常任役員会に一任</i></p>
<p>提案理由</p> <p>オフィシャルエージェントについては、従前より募集により決定しておりましたが、この度の募集に関しても同様にさせていただきたく提案させていただきました。</p> <p>旅行業の資格を有し、要件を満たすものを募集したいと考えます。</p> <p>理事通信等を通じて募集し、かつ、常任役員会にて選定させていただきたいと思います。</p>
<p>【アジェンダ資料】 *議案のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。</p> <p>議案のタイプ ■問題解決 □連絡 □( )</p> <p>緊急性 ■緊急を要する □要しない ★ 月 日までに解決の必要</p> <p>必要時間(5)分 資料( ) 出席を要すべき人( )</p>
<p>【提出期限】 10月23日(必着)複数の議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使いください。</p> <p>開催日: 2017年11月11日~12日 会場: 神戸グリーンヒルホテル</p>

日

2017-18年度第2回役員会  
議長 西日本区理事 大野 勉殿

提案者 役職名 理事  
氏名 大野 勉

## 西日本区第2回役員会 協議書

### 【第1号協議】

協議名	ワイズ将来構想ビジョンおよび基本計画の基づく実働委員の選任の件
協議内容	「西日本区の発展を希求するビジョンと基本計画案」の承認を受けて、 実働委員を、各部より選出する件
提案理由	<p>Ⅲ. 基本計画の実行</p> <p>の中で、</p> <p>1. ビジョン・基本計画の実現に向けて、情熱と行動力を持続できる献身的で有能な 実働チームを編成組織して、2022年に至る具体的な Action Plan を設定して 事業として推進する。</p> <p>とある。その実働チームを編成するために、各部よりメンバーを選出していただきたい。 これは、すでに行われている「推進チーム」のメンバーもそれに該当すると考えている。</p>
【アジェンダ資料】	<p>* 協議のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。</p> <p>協議のタイプ ■問題解決 □連絡 □( )</p> <p>緊急性 □緊急を要する □要しない ★ 月 日までに解決の必要</p> <p>必要時間( 10 )分 資料( ) 出席を要すべき人( )</p>
【提出期限】	<p>月 日( )必着 複数の協議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使いください。</p> <p>開催日:2017年 年 日( ) 会場: TEL</p>

## 西日本区第 2 回役員会 協議書

### 【第2号協議】

<b>議案名</b>  次年度、韓国・麗水(ヨス)における第73回国際大会・IYC  オフィシャルエージェント募集及び選定の件
<b>議案内容</b>  第73回国際大会は、韓国・麗水市で開催されます。  大会参加者の利便性向上のため、下記について協議していただきたい。  ○オフィシャルエージェント選定方法
<b>提案理由</b> オフィシャルエージェントについては、従前より募集により決定しておりましたが、この度の募集に関しても協議していただきたく提案させていただきました。 旅行業の資格を有し、要件を満たすものを募集したいと考えます。尚、第3回の役員会で議案提出をし、決定する場合には、大会登録手続き等に支障をきたすため、募集の必要性が認められた時は、理事通信等を通じて募集し、かつ、常任役員会にて選定させていただきたいと思っております。 協議をお願いいたします。
<b>【アジェンダ資料】</b> * 協議のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。  協議のタイプ ■問題解決  緊急性 ★ 4 月 末日位までに解決の必要 必要時間( 5 )分 資料( ) 出席を要請すべき人( )
<b>【提出期限】</b> 10 月 23 日(月)必着 複数の議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。 開催日:2017 年 11 月 11-12 日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909

2017-2018年度第2回役員会

議長 西日本区 2017-2018年度 理事 大野 勉 殿

提案者	役職名	理事
氏名	大野 勉	

## 西日本区第2回役員会 協議書

## 【第3号協議】

協議名	2019年7月19日～21日開催の 第28回アジア太平洋地域大会(仙台大会)実行委員選任の件
協議内容	<p>上記第28回アジア太平洋地域大会の実行委員を西日本区から選任したい。</p> <p>第26回アジア大会(京都にて開催)では、実行委員として、東日本区から4名来ていただいた。</p> <p>今回、西日本区から同等程度の委員を選任したい。</p>
提案理由	<p>10月19日(木)、東日本区栗本治郎理事より、標記「第28回アジア太平洋地域大会」実行委員会のメンバーとして、西日本区から数名選出を願いたいと依頼があった。</p> <p>西日本区として、この大会を支援するという意味でも、委員を選任したい。</p>
【アジェンダ資料】 *協議のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。	
協議のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 問題解決 <input type="checkbox"/> 連絡 <input "="" type="checkbox"/> 緊急を要する <input type="checkbox"/> 要しない    ★ 月 日までに解決の必要
必要時間( 5 )分 資料( ) 出席を要請すべき人( )	
【提出期限】10月23日(月)必着 複数の協議書を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。	
開催日:2017年11月11-12日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909	

2017-2018年度第2回役員会  
議長 西日本区 2017-2018年度 理事 大野 勉 殿

提案者 役職名 理事  
氏 名 大野 勉

## 西日本区第2回役員会 協議書

### 【第4号協議】

協議名	防災計画に関する件
協議内容	<p>組織検討・安全対策委員長浅岡ワイズよりこの案の提出があった。</p> <p>この案を西日本区の案として、ワイズ・YMCAパートナーシップ検討委員会において検討を始める「共通の防災計画」へとつなげたい。</p> <p>この案に対しての意見を求めます。</p>
提案理由	<p>近い将来起こる恐れのある災害に対応できるように、YMCA とワイズが協働して対策を考えることは、重要なことと考える。それぞれの地域で考えられること、これまでの経験等から考えられること等を意見としてお聞きすることで、より強固な防災計画の作成につなげたい。</p>
【アジェンダ資料】 * 協議のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。	
協議のタイプ	<input type="checkbox"/> 情報提供 <input type="checkbox"/> アイデアがほしい <input type="checkbox"/> 問題解決 <input type="checkbox"/> 連絡 <input type="checkbox"/> ( )
緊 急 性	<input checked="" type="checkbox"/> 要しない      ★2018年4月の第3回役員会までに解決の必要
必要時間( 10 )分	資 料( ) 出席を要請すべき人( )
【提出期限】	10月23日(月)必着 複数の協議書を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。
開催日:	2017年11月11-12日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909

## 西日本区緊急災害対応規則(案)

(目的)

第1条 日本国内で甚大な災害が発生した場合に、西日本区ワイズメンズクラブとしてどのように対応するか、基本的なルールを定めておく。なお、国外においても特に重大な災害が発生した場合には、この規則に準じて取り扱うことが出来る。

(災害対策本部)

第2条 国内で甚大な災害が発生した場合には、理事は災害発生から2日以内に常任役員会を開催(電話又はメールも可とする)し、西日本区の災害対策本部を立ち上げ西日本区内の全クラブと東日本区や日本YMCA等の関係先に通知する。

緊急連絡先として本部長(理事)及び本部事務局長の携帯電話と電子メールを伝える。

2. 災害対策本部は当初常任役員と理事事務局長及び事務所職員の7名で構成する。その後必要に応じ理事が最小限の本部役員を追加任命することが出来る。

3. 災害対策本部の任期は概ね1年とするが、解散時期は常任役員会が決定する。

4. 理事が災害対策本部の本部長を担い、事務局長や会計責任者等必要な担当役員を早急に任命する。

(被災地対策本部)

第3条 被災地が西日本区の場合、被災地対策本部の設置を理事が当該部長に指示する。

被災地対策本部は原則として被災地の部長及び部キャビネットで構成するが、必要に応じて直前部長、次期部長、被災地クラブ会長等を加えて構わない。

被災地対策本部は西日本区災害対策本部と緊密に連携を取り、被災者支援、災害復旧に当たる。任期は区の対策本部と連動し、解散時期は関係者が協議して決定する。

(緊急災害支援金)

第4条 災害対策本部は災害の状況を把握したうえで、災害発生から5日以内に緊急災害支援金の支給額を仮決定する。その後地域奉仕・環境事業(以下CSと略す)主任に指示し、緊急のCS事業委員会を開催(電話・メールも可)し、緊急災害支援金の金額、支出項目等を決め西日本区事務所に送金を依頼する。災害発生から原則10日以内に被災地に届ける。緊急災害支援金は原則としてCS資金より拠出し、災害状況に応じ50万円～300万円の範囲で災害対策本部とCS事業委員会で決定する。

(緊急災害支援物資)

第5条 災害対策本部は被災地対策本部やYMCAと協議して、災害支援物資について

必要項目、必要量、優先度等を確認する。また被災地までの集配体制、輸送方法等を検討した上で、西日本区の各クラブに呼び掛け、適時に被災地に届ける調整を図る。災害支援物資は時間の経過と共に変化するので、被災地対策本部やYMCAと確認を取りながら各クラブに協力要請する。

(災害復旧ボランティア)

第6条 災害対策本部は被災地対策本部やYMCAと協議して、被災地のニーズに応じ

ボランティアの呼びかけ、応募方法の指示、受け入れ態勢の確認などの調整を図る。

なお、必要な場合はYMCAとも相談してバスによるボランティアの送り込みなどの方策を講じて被災地支援を検討する。またYMCAのリーダーによる支援が不可欠な場合に、リーダーの経済的負担を考慮しワイズの補助やバス手配等の支援を検討する。また、ワイズ以外の皆さんがボランティアとして一緒に参加出来る事も検討する。

初期の災害復旧のボランティアが一段落した後には、被災者への精神的な支援その他ボランティアのニーズも変わってくるので、被災地対策本部とも連携して対応する。

(長期の災害支援)

第7条 災害対策本部は災害発生から概ね半年を経る前に、これまでの災害対策の実施状況や被災地の復旧状況等を評価して、西日本区としての今後の支援体制を検討する。災害対策本部を解散する前に、被災地対策本部やYMCAと協議して今後5年程度先までの長期の災害支援の在り方を検討し、西日本区の役員会にこれまでの状況と合わせて報告し、了解を求める。これらの災害対策本部の今後の災害支援の方向に関する総括は、次期理事の方針・実行計画に可能な限り反映するよう努める。

2年目以降の災害復旧支援金等の支援策については、その時の理事が理事目標に掲げ役員会・代議員会の承認とワイズの皆さんの理解・協力を得て進める。

(広報活動)

第 8 条 西日本区としての緊急災害対応については、災害対策本部が各部長等の役員やメール委員を通じて情報を流すが、それらの情報を含め、被災地の状況や災害支援の状況を内外に発信するために、広報・情報委員会に依頼して西日本区ホームページに掲載するよう努める。ワイズや YMCA が行う活動の中で注目すべきものは、外部の広報機関に取り上げてもらう等の努力をする。また YMI 翻訳編集委員の協力を得て、世界のワイズメンへの情報発信にも努める。なお、毎月発行する理事通信にも必要な情報は発信し西日本区内の皆さんの理解を共有する。

2017-2018年度第2回役員会

議長 西日本区 2017-2018年度 理事 大野 勉 殿

提案者 役職名 直前理事

氏名 岩本 悟

## 西日本区第2回役員会 協議書

## 【第5号協議】

協議名 西日本ワイズ基金(JWF)の用途としての、「ワイズ発展の重要プロジェクト」とは？
協議内容 過去20年間 一時的な貸し出しはあったにせよ、プロジェクトの為に活用した例は見当たりません 西日本区発展の為に、「生きた OR 活きたお金」として「ワイズ発展の重要プロジェクト」に資するには どうすればいいのか？ どのようなプロジェクトが考えられるのか？ 西日本区発展の為に、新たなシステム構築として良いアイデアはないか？ ご意見を頂きたい。
提案理由 1) 一般会計残高と単年度通常会計でのマイナス 2016-17年度:資金残高 937万円 単年度収支-585万 2015-16年度:単年度収支-127万 2014-15年度:単年度収支-15万 2) 昨年度、財特と将来構想の2つの特別委員会発足による新たな活動費が発生 特に今年度は、各部単位で各部部長・各部EMC推進チーム、これに一部の将来構想のメンバーも 加わって活動が開始される予定です。これには当然活動費が発生します。 3)次々期理事指名委員会報告でもいたしました、有用な理事候補がいながら経済的理由で引き受 けて頂けない事例もあります。 資金がないでは活動できませんし益々じり貧状態です。活発に活動する為には資金が必要です。 2017年6月末残高のJWFは、3246万円あります。上記3つの事も踏まえてワイズ発展の為に建設的な ご意見をよろしく願います。
【アジェンダ資料】 *協議のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。 協議のタイプ <input type="checkbox"/> 情報提供 <input checked="" type="checkbox"/> アイデアがほしい <input type="checkbox"/> 問題解決 <input type="checkbox"/> 連絡 <input type="checkbox"/> ( ) 緊急性 <input type="checkbox"/> 緊急を要する <input checked="" type="checkbox"/> 要しない ★ 月 日までに解決の必要 必要時間( 10-15 )分 資料( ) 出席を要すべき人( )
【提出期限】10月23日(月)必着 複数の協議書を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使い下さい。 開催日:2017年11月11-12日(土、日) 会場:グリーンヒルホテル神戸 TEL 078-222-0909



日

2017-18年度第2回役員会  
議長 西日本区理事 大野 勉殿

提案者 役職名 EMC事業主任  
氏名 三科 仁昭

## 西日本区第2回役員会 協議書

### 【第7号協議】

<p><b>協議名</b></p> <p>EMC事業強化のために、各部のEMC事業を支援強化したい。そのために2017-18年度西日本区EMC事業委員会は、「各部におけるEMC事業強化のためのガイドライン」を作成し、各部にアピールしたい。</p>
<p><b>協議内容</b></p> <p>各部のEMC事業強化のためのガイドラインを作成し、各部にアピールする。部の方針、組織や役割はあくまでも各部自身が決定して執行するものであるから、各部はこのガイドラインを参考にいただき、各部自身でEMC事業強化策の指針としていただきたいものである。</p>
<p><b>提案理由</b></p> <p>昨今のEMC事業においては、毎年会員数の減少が認められ、漸減の傾向が止らない。2015年6月末をもって、EMC事業の中心的役割を担っていた「西日本区EMC2000推進チーム」が解散し、2014年7月から、その役割を各部にブレイクダウンした「部EMC推進チーム」に引き継がれているが、明確な活動内容や成果は希薄である。過去の集計データ(添付)を見ても、ここ10年間で会員数を増加させているクラブは全体の10%に満たない。辛うじて会員数をキープしているのは、九州部、京都部、西中国部を中心とした新規クラブのチャーターに負うところが大きい。</p> <p>そこで、今後の方針として、MC事業としての会員の増員は継続していくとして、新規クラブのチャーター活動を推進するべき「E事業」は避けて通れない。その役割として、EMC事業を「E事業」と「MC事業」に分離して、相互に強化し既存クラブの会員増強と新規クラブのエクステンションの促進が望まれる。そこで、2015-16年度EMC事業委員会ではEMC事業主任を分離して「EMC事業2本建て・EMC事業主任2年任期制」を企図したが、2016-17年度EMC事業委員会において、むしろ強化すべきは「各部」であって、部の強化にシフトすることになった。その上で新設の「ワイズ将来構想検討委員会」にも同じ提案を諮問した。部の組織や役割は部で決定するものであるが、2017-18年度西日本区EMC事業委員会としては、部が決定する際の参考資料としての「各部EMC事業強化へのガイドライン」を作成し、各部に提示したい。(ガイドライン原案は添付資料の通り) ワイズ将来構想特別委員会と連携し進めてゆくことが EMC 戦略上重要です。</p>
<p><b>【アジェンダ資料】</b> *協議のタイプ及び必要時間は必ず記入してください。</p> <p>協議のタイプ <input type="checkbox"/>情報提供 <input type="checkbox"/>アイデアがほしい <input type="checkbox"/>問題解決 <input type="checkbox"/>連絡 <input type="checkbox"/> ( )</p> <p>緊急性 <input type="checkbox"/>緊急を要する <input type="checkbox"/>要しない ★ 月 日までに解決の必要</p> <p>必要時間( )分 資料( ) 出席を要すべき人( )</p>
<p><b>【提出期限】</b> 月 日( )必着 複数の協議案を提出する場合はこの用紙をコピーしてお使いください。</p> <p>開催日:2017年 年 日( ) 会場: TEL</p>